向つて、

場を利用して概念宗拜の 問として、その時ノ

として石城郡内に知ら

ち立てられたる名

聲の殿堂

なるも、

の裡に打

ステカブ

るた

赤坂毅一氏

も今

こそ

氏を以て村政を破壊す

る る

ので或は村長として、

は實に悪

れるも

區長として,

或は村民の顧

一の立

氏に對して、同

編輯兼發行印 行 福烏縣平町南町七十八番地 廿一日 北 JI] (毎月三回) 秀 雄

告

料

五號十二字詰

五十錢

なければ

送料五厘

民の間に擴がりつゝある、 を許さざる怨嗟の 今とて此暴虐な村長 ある まつわ 赤坂毅一氏とし の悪事を爲す影に 罪狀數へされ である、 0 0 る日を目前にし 醜聞を列 其重なるも 處で赤坂毅 体財產橫領、 一氏、ステカブレ ぬ程ある中に 記するに てゐる譯 「恥漢の 裁を受しとしたるもそれを 村公原因は?氏が同村古澤豊吉 金を全部 がある、 和二年度に於て前 め、その罪は今日までアカ ルミには出ないで 時村長の職を辭したるた りその罪狀をアバカレ 記大野氏 ねた もの をし 賦役に於て、一村會議員中よらの位のことは、承 該工事に關し村民に課せる|當局の認可を受けねればな り委員を立てて之を をなせるは其影に、 のと見られ シキ問題の存在してゐるも のにして、

てゐる、尙氏は

は村會の承認を得たる上

ものは此の村長としての存 等方策の構じ様なく心ある

在をどんなに悲しみなげ

ならよもやそん大そ

てゐるか知れない

或は質は單なる寄附金の横領に 止まるものでなく前記古澤 のとして之を寄贈せるもの 吉氏の旧地を買取 して、しかも此寄附金の性 村鈴木子之 にるも 圣 を徴收せんと計劃し、しか 監督せしひるでもなく、 なくまたは役場更員をして もこの代納金を村會が一日 に村民を酷使せしめたるば 請負人の直接監督のもと 監督せし 十銭となせる むるでも とはもくろめない筈なのに はやりもしない土木事業やくも村政革新の叫び今回 か思はぬか知らぬが、 レなる所以を如何なく發揮 氏のステカブレのステカブ して村曾を偽り 縣當局を

朝めし前と思った

ゴマカ

スなく一方に於ては檢事局に

てゐたが、

此處に公憤已

は、かねてより

村會の

在り前記の通

、野村議

局に陳情する等單身雄々し

の時價を支拂はざる爲め 前記鈴木氏に對して田 寄附金は横領され を虐げ足りずして此 0 極を招ぎし しても、

と泣行爲をする等常に已を利す

利權を與

坂敬一氏芝村長としては一 擧に出でしる言はれ因に

に對して或

るに立ち致ら

を用ひぬ

云よてれ明かに 果に貸與すべ 横暴限りなき態度をとり 金利用の罪を を借り入れ之を前記中山 れを遂行せんが 道 有様を述べるに てゐる哀れな狀態に

延びて行つたのであ の村費の費込みをよぎなく し如何に暴虐な氏にも豫算 を昭和六年度の豫算の上 此のステカブレの魔手は之 依つて補ふかと言ふに當り んとして、 遂ひに七百餘圓 に村政はピン亂、村民は塗 目もあてられず、 務等は亂みやく不眞面至く 於て行はれ爲めに更員の 面に於ては、 たらはてし せず村政は全く家庭 氏は常に役場には があるか判らな

勤 12

べく革新の叫びをあげたも のと見るべきである、 もうにたで真何飽」ぼれ堪二に者受限けはつく於政たつ果に程の送るは俸のにたを爲もた聞あく想與俸なしさ人あの時くこうしへ三對にけりるこたもで府迄くは卷世成さ人事問目角傾得め不とはるシ洛味問いたへのら自如まとさもな耳す屬たで細のでなは當のべ結込を行るは實題は毎向ん赞景さ所ます方を題

やかば原 E

の上塗りに日夜頭を惱まし 芽はとこま おるの られ たる一大汗点をのぐふ との 行 おざなりと あ らに徒 依る親

债券,

公債、

為替金融

井

質

多田井笑次郎

電話五九一番平町大工町

げます

蒲鉾の節には多大の御引立を蒙り厚く御禮申上

初夏の訪れと共に例年通り

すが

1.

初夏の

タの

散策には是非!!

美人女給のサービス満點の

カフェータヒラへ

平驛前(電話六二〇番)

警察署通り 電話三〇五番

人院自炊の便あ

三一年新裝成れる…

買ッテ安ク..... 贈ツテ便利ナ…

陶器ノ御用命

III 目

J

入

院

隨

立御用命御願ひ申上げます 今般藤田女學校脇元橋本屋糸店跡 に文は開業致した本店同樣御引 平町五丁目電話六六八番



举犯不举犯 試電

動力應用賃搗き致します

平町仲町 (電話三一八番)

焚えて殖える絶對無砂

搗胚芽米を召せ……

F

榮養に富み食べて美味しく

平町大町 電三七一番

主任 吉田五平

本店の推獎する.....

氣 耳 管 食 咽 道 喉 門

院長 日本醫學士

平町南町(元眞木辯護士跡) 增 田之

中山云

カイソネーチャー

銘 岡 靜塲

路小槌搔町平

度試みられよ

効

力絕大

難病歡

迎

電平 話三〇九 番漈

初めました散歩の歸りには是非御立寄りを

出前迅速!!!

▽ 氷

水各

種

アイスクリームアイス

花外

科

病 般 平 電 話 Ħ. 四

武 T 目

佐

出前迅速!! 名代水豆始めました

理前し 電六七九番平町三丁目横町

小江お 料戶壽

電話呼出(壽し本)三五一番

田 源 那 吉

亚ニ美術青銅鑄物

平町七町目 鑄金家 工 藤